



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東
 コード番号 6166 URL <https://www.nakamura-gp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 井上 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田植 啓之 (TEL) 072-274-0007
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	290	△61.0	△90	—	△90	—	△119	—
2026年3月期第1四半期	746	△15.2	△11	—	45	450.5	234	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △118百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 232百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△10.88	—
2026年3月期第1四半期	21.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,434	924	64.1
2026年3月期	1,711	1,098	63.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 920百万円 2026年3月期 1,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600	△57.6	△150	—	△150	—	△170	—	△15.43
通期	1,300	△53.0	△160	—	△160	—	△230	—	△20.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	11,020,900株	2026年3月期	11,020,900株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1株	2026年3月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	11,020,899株	2026年3月期1Q	11,020,899株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、政府の各種経済対策の効果もあり、緩やかな回復基調を維持しました。一方で中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰や供給不安、石油由来製品のサプライチェーンの混乱や、インフレの継続と金利上昇等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。世界経済においても、欧米では中東情勢の影響を受けつつも堅調に推移しましたが、中国経済は低迷を続けており、経済成長にも減速の兆候が見えており地域間で差異が見られます。中東情勢をはじめとした地政学リスクの高止まりや、米国をはじめとした各国の通商・金融政策の変動も予測され、わが国経済を取り巻く情勢は予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、特殊精密機器事業においては、これまで推進してきた自動車部品メーカーへの販売拡大や、半導体製造分野での顧客開拓の進捗により、受注・売上が増加基調に転じたとともに、D-N e x t 事業においては、海外における顧客の開拓が進捗し、複数の海外顧客への量産販売を開始したことにより、販売数量が大きく伸長いたしました。一方で全社的な経費増の影響により収益性は低下することとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は290百万円（前年同期比61.0%減）、営業損失は90百万円（前年同期は11百万円の営業損失）、経常損失は90百万円（前年同期は45百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は119百万円（前年同期は234百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。前連結会計年度において日本ノズル株式会社の全株式を売却し連結の範囲から除外したこと、ならびに江蘇三超社との国際仲裁における仲裁中間判断に基づき、受領済契約対価の収益未計上部分等を特別利益に計上したこと等の影響により、前年同期との比較において減収減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、厳しい事業環境が継続している状況において、これまで取り組んできた自動車部品メーカーへの耐摩耗工具・部品の販売が伸長したとともに、半導体製造分野における新規顧客開拓の進捗により、半導体製造工程で使用されるコレット等の精密部品の販売開始により受注・売上は好調に推移いたしました。加えて、前年から本格的な量産販売が開始された新規アイテムである新素材で製作した実装機用ノズルの売上も順調に増加いたしました。

これらの結果、売上高は219百万円（前年同期比23.4%増）、セグメント損失は9百万円（前年同期は7百万円のセグメント損失）となりました。

② D-N e x t 事業

D-N e x t 事業については、国内大手顧客の工場稼働率低下により、国内向けダイヤモンドワイヤの販売は低調に推移いたしました。これまで取り組んできた海外における顧客開拓が進捗し、複数の海外顧客への量産販売を開始したことにより、受注・売上ともに大きく伸長いたしました。

これらの結果、売上高は69百万円（前年同期比32.3%増）、セグメント損失は33百万円（前年同期は28百万円のセグメント損失）となりました。

③ マテリアルサイエンス事業

2026年4月1日にZ e o N e x t 株式会社に事業移管し、体制を大幅に強化の上で新規事業として早期事業化を目指すナノサイズゼオライトについては、一部の用途分野において正式採用が進みましたが、販売数量は少量にとどまりました。量産期待値の高い金属イオン吸着や、ガス吸着用途、分離膜用途や電子部品封止剤用途等の各用途分野においては顧客やエンドユーザーにおける正式採用に向けた評価が継続しております。

これらの結果、売上高は1百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント損失は47百万円（前年同期は22百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産

電子記録債権が24百万円増加したものの、現金及び預金が283百万円減少、商品及び製品が10百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ276百万円減少し1,434百万円となりました。

② 負債

未払金が99百万円減少したこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ103百万円減少し509百万円となりました。

③ 純資産

親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当により利益剰余金が175百万円減少したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ173百万円減少し924百万円となりました。

この結果、自己資本比率は64.1%（前連結会計年度末は63.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日付決算短信において公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,629	799,887
受取手形及び売掛金	157,948	156,745
電子記録債権	27,802	52,436
商品及び製品	25,041	14,981
仕掛品	51,557	51,603
原材料及び貯蔵品	50,896	49,096
その他	35,021	33,818
流動資産合計	1,431,897	1,158,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	119,381	116,401
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
土地	132,890	132,890
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	252,271	249,292
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
その他	26,855	26,738
投資その他の資産合計	26,855	26,738
固定資産合計	279,126	276,030
資産合計	1,711,024	1,434,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,856	43,364
契約負債	228	241
リース債務	10,686	10,662
未払法人税等	246	469
賞与引当金	26,131	10,168
未払金	140,720	40,924
その他	40,173	55,974
流動負債合計	259,044	161,804
固定負債		
リース債務	36,306	33,601
退職給付に係る負債	153,761	150,479
資産除去債務	43,247	43,385
長期未払金	119,374	119,374
繰延税金負債	1,199	1,174
固定負債合計	353,889	348,015
負債合計	612,934	509,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	1,096,953	921,939
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,106,953	931,939
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△13,527	△11,821
その他の包括利益累計額合計	△13,527	△11,821
新株予約権	4,664	4,664
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,098,090	924,781
負債純資産合計	1,711,024	1,434,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	746,377	290,920
売上原価	568,069	219,306
売上総利益	178,308	71,613
販売費及び一般管理費	189,358	162,010
営業損失(△)	△11,050	△90,396
営業外収益		
受取利息	114	7
受取配当金	30	-
助成金収入	21	-
補助金収入	1,000	-
スクラップ売却益	729	867
原材料売却益	69,063	-
その他	502	50
営業外収益合計	71,461	925
営業外費用		
支払利息	12,552	445
為替差損	1,628	162
その他	868	0
営業外費用合計	15,049	607
経常利益又は経常損失(△)	45,361	△90,078
特別利益		
固定資産売却益	207,097	-
新株予約権戻入益	1,017	-
特別利益合計	208,115	-
特別損失		
固定資産除却損	25	33
減損損失	19,989	10,081
訴訟関連費用	1,696	19,537
特別損失合計	21,711	29,652
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	231,765	△119,731
法人税、住民税及び事業税	3,547	203
法人税等調整額	△5,807	△24
法人税等合計	△2,259	178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	234,024	△119,909
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	234,024	△119,909

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	234,024	△119,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	-
繰延ヘッジ損益	34	-
為替換算調整勘定	△1,198	1,705
その他の包括利益合計	△1,274	1,705
四半期包括利益	232,750	△118,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,750	△118,203
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	178,022	514,232	52,411	1,710	746,377	—	746,377
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,183	431	—	—	1,615	△1,615	—
計	179,206	514,664	52,411	1,710	747,992	△1,615	746,377
セグメント利益 又は損失(△)	△7,015	37,708	△28,431	△22,578	△20,316	9,266	△11,050

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額	合計額
減損損失	19,989	—	—	—	19,989	—	19,989

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	219,710	69,349	1,860	290,920	—	290,920
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	667	—	27	694	△694	—
計	220,378	69,349	1,887	291,615	△694	290,920
セグメント損失(△)	△9,666	△33,238	△47,492	△90,396	—	△90,396

(注) 1 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1	合計額
減損損失	1,670	624	6,784	9,080	1,001	10,081

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において報告セグメントの「化学繊維用紡糸ノズル事業」に区分されておりました日本ノズル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「化学繊維用紡糸ノズル事業」の区分を廃止しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	54,265千円	2,979千円